

第2回意見の整理・キーワード抽出

1 全般・考え方（新たな意見）

- ・付帯意見として狭くしてしまうといい案が出てこない。3案から選ぶ面白みを欠かすことが無いようにすべき。
- ・付帯意見は、具体化し過ぎずに我々の思いを中心に記載して、イメージを膨らませる内容としてはどうか。
- ・言葉だけでは伝わりづらいかもしれないので、写真を付けたほうが分かりやすくなるのではないかな。

2 多くの人が「小樽らしさ」を感じる要素

【キーワード】（赤字：新たなキーワード 緑字：意見があったキーワード）

<歴史的な街並み>

運河 石造倉庫 石畳 軟石（石）^① レンガ^② ガラス^③ 素材感^④

<灯り>

ガス灯^⑤ オレンジ^⑤ 雪あかりの路 ろうそく^⑤ 温かさ^⑤ ランプ^⑥

①軟石（石）

- ・「石」というと広くなってしまうが、「軟石」というと狭くなってしまう。コンセプトという段階では素材感ということで「石」という表現でいいのではないかな。
- ・小樽本来のイメージとしては、「レンガ」よりも「石」という感じがする。ただ、石は重厚だが温かみに欠ける。

②レンガ

- ・レンガでなければならないということではなく、例えば（赤系の）インターロッキングやレンガの道路のようなものを取り入れていただけたらいいのではないかなと思う。
- ・改めて確認したところ、小樽には赤のものがあると再認識した。レンガはエントランスなど部分的に入れられるかもしれないので、要素として入れるのはいいのではないかな。

③ガラス

- ・「ニシンのウロコ」を「ガラス」と上手く重ねて表現できないだろうか。
- ・小樽築港駅のようなガラス張りの駅にして、周辺が明るくなるような、夜にガラス越しに温かく見えるような駅になるといいという声を多く聞く。
- ・付帯意見の「地域の歴史・文化」の中に、「ガラス」というキーワードも入ってくると思う。
- ・天神町の冬の寒さと夏の暑さを考えると、外観に「ガラス」を使うのはどうなのかという気がする。
- ・旧祝津小学校のガラス（たくさんの魚の絵が刷り込まれている）のように、特色を入れて表現することもできるのではないかな。

④素材感

- ・骨子案の付帯意見の1つ目に「『石やガラス』を基調としたデザインを検討いただきたい」とあるが、「『石、レンガ、木材』などの素材感のある外装材を基調として、・・・」など、もう少し付け加えてもいいのではないかな。

⑤ガス灯、オレンジ、ろうそく、温かさ

- ・温かみという点で、「ガス灯」だとか「ろうそくの炎のようなオレンジ色」が加わることで、小樽らしい駅舎になってくるのではないかな。

⑥ランプ

- ・小樽駅にあるようなランプを上手く活用すれば、温もりの感じを表現できるのではないかな。
- ・ランプのオレンジ色で映し出せれば、季節を通して様々に表現できないだろうか。

3 新駅周辺の自然・眺望

【キーワード】

奥沢水源地 水すだれ 天狗山からの眺望

4 バリエーション・ポイント・内観

【キーワード】（赤字：新たなキーワード 緑字：意見があったキーワード）

赤系 レンガ 緑や雪に映える色 大正ロマン^⑦ 港^⑧ 海^⑧ 漁業 アイヌ文様^⑨
倉庫^⑩ ガラス作品 遊び心 木材^⑪ 北前船（木造船、帆船）^⑫ 坂の街^⑬

⑦大正ロマン

- ・小樽に対するイメージは人それぞれだと思うが、個人的には「大正ロマン」というイメージを持っている。
- ・「大正ロマン」のイメージがあるので、（コンセプトの中に）「ロマンの街」とか、そうした文言を入れてもいいのではないかな。

⑧港、海

- ・「港、海」というのも非常にいいが、色としては青になるので、どうしても寒々しい印象がある。もし石造に合わせるのであれば、難しいのかもしれない。

⑨アイヌ文様

- ・「アイヌ文様」が市内に残っているのかというと、ちょっと難しいかなと思う。「小樽らしさ」を前面に出していくのであれば、あえて北海道全体のことを残す必要はないのではないかな。
- ・小樽という地名がアイヌ語からきているとはいえ、イメージとして「アイヌ」と小樽が重なるのかというと、個人的にはそのようには思えない。
- ・「アイヌ」について、関係者の方々が一生懸命になって伝統文化として継承している中で、小樽でもそうしたことがあるのかどうかよく分からないが、安易に使っていいのか慎重になる。

⑩倉庫

- ・内観に関して、「石造倉庫内部」というキーワードだけでは冷たいイメージになるので、付帯意見としては「落ち着き・温もり」に繋がるように「利活用されている」という修飾語を付け加えた方がいいのではないかな。

⑪木材

- ・木材の使用は賛成だが、長期間の使用によって変色や傷んでくるので、将来的に容易に修繕できるような素材を使ってほしい。
- ・木材について、内装材に使うのであれば心配はいらないと思う。長期利用によって重厚感というか趣が出てくるので、そうした点を含めて考えてはどうか。

⑫北前船（木造船、帆船）

- ・海だと寒々しい感じがするので、「北前船のような木や帆船」を生かせればいいのではないかな。

⑬坂の街

- ・小樽は「坂の街」と言われているので、付帯意見としてこのキーワードを追加してはどうか。

5 利用面での配慮

【キーワード】（緑字：意見があったキーワード）

使いやすさ ユニバーサルデザイン^⑭ 外国語表記 ゆとり

⑭ユニバーサルデザイン

- ・「ユニバーサルデザイン」は、現在では当たり前のものになっているので、付帯意見としてあげるまでのものではないように思う。
- ・小樽は高齢者が多く、これからもっと増える。「ユニバーサルデザイン」といっても、手すりが通路の片側にしかないこともあるので、そうではなく新小樽駅が福祉面でも利用しやすいねと言われるよう、付帯意見に残してほしいと思う。
- ・（部会長）載せるのであれば、単に「ユニバーサルデザイン」というだけでなく、どの部分を考慮してほしいのか具体的に示す必要があると思う。

6 技術面での配慮

【キーワード】（赤字：新たなキーワード）

圧迫感低減 分節化 材料の組合せ

- ・分節化やガラスの使用などにより、周辺への圧迫感を低減するデザインを検討いただきたい。
- ・いくつかの材料を組み合わせることや、一部に使うということも考えられる。

7 鉄道・運輸機構（オブザーバー）のコメント

- ・駅舎外観に関しては、デザインコンセプトを受領後に 3 つのデザイン案を作成し、選択いただく流れになる。
- ・その後、内部空間の設計を進めていくことになるので、その際に 3 案のうち選ばれなかった 2 案の要素を内観に反映させることもできると思う。
- ・内部であれば、より利用者に近い目線で触れる機会もあると思うので、今の段階で絞り込み過ぎずに小樽には様々な魅力があるということを教えていただけると助かる。

以上